



国土交通省 Hokuriku-shin'etsu District Transport Bureau

北陸信越運輸局

Press Release

令和 5 年 2 月 9 日

交 通 政 策 部

令和 4 年度北陸信越運輸局長表彰の授与について

～物流の効率化・環境負荷低減の取組に対し優良事業者等を表彰します～

北陸信越運輸局ではこれまで管内における運輸局の所管に係る事業者等のうち、環境保全対策・安全対策に貢献された優良事業者等に対して、北陸信越運輸局長表彰を行ってきたところです。

このたび、無人航空機の活用による物流の効率化を進めてきた『伊那市』並びに EV タクシー等環境に優しいタクシー車両の導入を進めてきた『南信州広域タクシー有限会社』に対し、表彰を行うこととしました。

表彰式の日程等は、以下のとおりです。

1. 日 時 令和 5 年 2 月 1 6 日（木） 1 0 : 3 0 ～
2. 場 所 伊那市役所 5 階 会議室
長野県伊那市下新田 3 0 5 0
3. 受賞者 伊 那 市 市 長 白 鳥 孝
南信州広域タクシー(有) 代表取締役 鈴木 佳史
4. 表彰者 国土交通省北陸信越運輸局長 平井 隆志

※ 1 表彰概要につきましては、別添を参照してください。

※ 2 取材を希望される方は、下記問合せ先にあらかじめ連絡をお願いします。

※ 3 取材にあたっては、検温、マスク着用等ご協力をお願いします。

問合せ先 ◇北陸信越運輸局 交通政策部 環境・物流課
担 当 渡邊、今井、成田
T E L 0 2 5 - 2 8 5 - 9 1 5 2

いなし 伊那市

買い物難民の増加が地域課題となっていたため、地域住民や地元企業と連携しドローンを用いた新たな配送システムを構築した。

なお、自治体がドローンを使った目視外自立飛行による配送を本格実装するのは、伊那市が全国で初めてである。

【表彰事由】「物流事業の効率化、発達改善等への貢献」

取組内容・効果

■環境負荷軽減への取り組み

・配送をドローンに転換することで、本来自動車を使用する場合に排出されるCO2が削減されるものである。

■その他の取り組みなど

・令和4年度においては、レベル4飛行による取組も含め、更なる利便性向上に向け検討している。
また、配送のみでなく、災害等における物資輸送や河川施設の点検等マルチユースでのドローン活用に取り組んでいる。

評価ポイント

（１）独自性

・高齢者でも扱い易いようにパソコンやスマホではなく、ケーブルテレビを活用することとし、画面上の表示とテレビリモコンの操作で商品の注文から決済までができることが特徴。

（２）貢献度

・ドローン配送は、充電式バッテリーを動力源としたドローンを用い、主に河川上を自律飛行して、目的地最寄りの集落施設に配送を行う。

（３）継続性

・令和2年8月5日より「ゆうあいマーケット」としてドローンを使用した買い物弱者対策を開始。事業構築に大手企業、サービス運用を地元企業という役割分担により継続的な運用体制を実現した。

南信州広域タクシー有限公司

長野県のSDGs推進企業、南信州広域連合の「いいむす21」の認証と共に、早くからエコモ財団のグリーン経営の認証を受けるなど人と環境にやさしい、安全のうえに安心を提供する企業を目指しており、該社保有のタクシー車両のうち、EV車が2台、PHV車が1台、そのほか、ガソリンHV、LPGハイブリッドなど95%が環境に優しい車両を導入している。

【表彰事由】「低公害車の導入、普及促進」、「自動車排出ガスの削減等、環境負荷の軽減」

取組内容・効果

■環境負荷軽減への取り組み

・本年4月には、電気自動車2台を導入し、飯田市からの委託を受け、竜東地区(2路線)の「乗合タクシー」として活用し、公共交通機関としてCO2排出削減に貢献している。

■その他の取り組みなど

・本年7月には、周辺自治体と「災害時における緊急輸送等に関する協定」を締結し、災害に伴う停電時において、EVタクシー、給電タクシーによる災害時の電気を供給する等の地域のライフラインの確保にも寄与する取組を行っている。

・事業運営においても、毎年、エコモ財団が主催している「エコドライブ活動コンクール」にエントリーし、経営者・従業員が一体となって、グリーン経営に取り組んでいる。

評価ポイント

(1) 独自性

・南信州地域では率先して車両を環境に優しい次世代自動車への代替を進めている。

・長野県がおこなうSDGsの取組に協力するため、「ながのSDGsパートナー」に申請し、地域の自治体や企業とともに環境保全の取組に貢献している。

(2) 貢献度

・社屋屋上にソーラーパネルを設置し、営業所の電力を賄いつつ、2022年4月に導入したEV車やPHV車への給電に活用することにより、地産地消の再生可能エネルギーによるCO2排出ゼロをめざしている。

(3) 継続性

・2011年に北陸信越運輸局管内ではEVタクシーを初導入した。以来、ガソリンハイブリッドやLPGハイブリッドの車両を導入しグリーン経営を推進してきた。

※EVタクシー車両は経年によるバッテリー性能の低下などから2019年を以て取りやめとしている。